

第7回ASEAN+3文化大臣会合  
義家文部科学副大臣の発言（和文）  
2016年8月24日、ブルネイ

議長、ありがとうございます。

各国大臣、御列席の皆様、

まず最初に、昨日のミャンマーにおける地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。また、パガン遺跡などの文化遺産に対する被害の復旧が一日も早く進むことを心から願うとともに、我が国としても可能な限り必要な協力を行って参りたいと考えております。

ASEANと東アジアの13か国の文化大臣が集まり、地域の文化協力について議論するという重要な会議に参加することができ、非常に光栄に存じます。この会合の開催に御尽力いただいたハルビ・ブルネイ文化・青年・スポーツ大臣及び関係者の方々に心からお礼申し上げます。

前回のこの会合には下村大臣が出席し、今回は日程の都合上、私が大臣の代理として出席していますが、我が国はこの会合を大変重視していることを申し上げます。

文化は、人々の心を豊かにし、災害などで傷ついた人々には勇気やきずなを与えてくれる大きな力があります。私は、学校の教師から国会議員になり、日本の教育政策に携わってきました。その経験に照らしても、若者が自らの文化に誇りを持ち、世界の文化を尊重できるような教育がこれからの社会にとって重要と考えています。特に、多様な文化を擁するアジアの発展のためには、人々がお互いの文化を尊重し、わかり合い協力していくことが欠かせません。

また、文化の振興は、成長性の高いクリエイティブ産業や観光の発展を支え、持続的経済成長の重要な要素です。特に、アジアの国々は、多様な文化的背景の下、多くの文化資産に恵まれる中で、文化の経済的価値は見逃せません。

日本は、ASEAN との文化協力を通じて、ASEAN 共同体ビジョン 2025 にうたわれている「包摂的、持続的、強靱でダイナミックな共同体」の実現に貢献していきます。

#### [メディア・舞台芸術分野における人材育成]

最初に、メディア・舞台芸術分野の協力についてお話ししたいと思います。

この分野は、文化産業、特に今後の成長が期待されるコンテンツ産業の促進に欠かせません。

例えば、日本は、これまで、2013 年から毎年、映画やアニメーション分野の専門家を ASEAN 諸国に派遣し研修を行っています。また、一流のアーティストを「文化交流使」として派遣する事業を行っており、2003 年から 20 名が ASEAN 諸国に派遣されています。さらに、日本の博物館が ASEAN 各国の博物館で展示を行っており、本年は、ミャンマーとタイで「マンガ・アニメ・ゲーム展」が開催されました。こうした取組を今後とも行っていきます。

#### [著作権制度の整備]

さて、コンテンツ産業の成長には、活動の担い手の人材育成だけでなく、国際的なビジネス活動の前提として、健全な著作権システムを整備し、著作物の流通や活用を促進する必要があります。

日本としては、ASEAN 諸国が、集中管理団体の育成、海賊版対策の強化など、著作権の適切なライセンスと正規品流通のための環境整備をすることに強力に支援していきます。

#### [文化遺産の保護]

続いて、文化遺産保護についてです。

日本は、ASEAN 諸国の様々な文化遺産保存のための支援を行ってきました。特に、人材育成に力を入れ、日本で培った保存修復ノウハウを伝えるため、2000 年以降、約 250 名を日本に受け入れました。

また、前回の文化大臣会合において下村大臣から提案しましたとおり、2015 年

12月に「ASEAN+3文化遺産フォーラム」を開催し、東・東南アジアにおける文化遺産保護の現状や問題意識を共有するよい機会となりました。各国から御参加にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからも、日本は、日本で培った技術力を生かして、文化遺産保護のための人材育成に協力していきます。

#### [スポーツ大会の活用]

次に、スポーツ大会の活用についてお話しします。

アジアでは、これから数年にわたりオリンピック・パラリンピックやアジア競技大会などの国際的なスポーツ大会が続きますが、これらの機会は、文化交流の絶好の機会として活用できると考えます。

日本においては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをスポーツの祭典のみならず、国際的な文化交流のための機会として活用するため、この10月にスポーツ・文化・ワールド・フォーラムを開催します。ASEAN+3の各国の皆さまにも、このフォーラムに是非御参加頂き、日本文化に接するとともに、日本や世界の要人とともに、スポーツ大会を文化交流や観光促進に活用する方途について考える機会としていただければ幸いです。

#### [その他ー結び]

このほかにも、前回の文化大臣会合で紹介されました国際交流基金による「WAプロジェクト」が実施されており、2020年にかけて、日本語学習や文化芸術交流が行われています。

最後になりますが、昨年9月に、日本は、ASEAN+3文化協力ネットワーク会合（APTCCN）を新潟で開催しました。今後とも、日本は、ASEAN+3における文化協力の促進に尽力しながら、アジアにおける経済社会の持続的発展に貢献していきます。

ありがとうございました